

2022年3月期第3四半期決算概要（補足資料）

2022年2月10日

サクサ ホールディングス株式会社



■ 収益認識に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間の期首から、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前第3四半期連結累計期間と比較して大きく減少しております。

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績予想、将来予想については、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合がありますのでご承知おきください。

■ 本資料における数値の表示方法

本資料に記載されている各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。また、増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

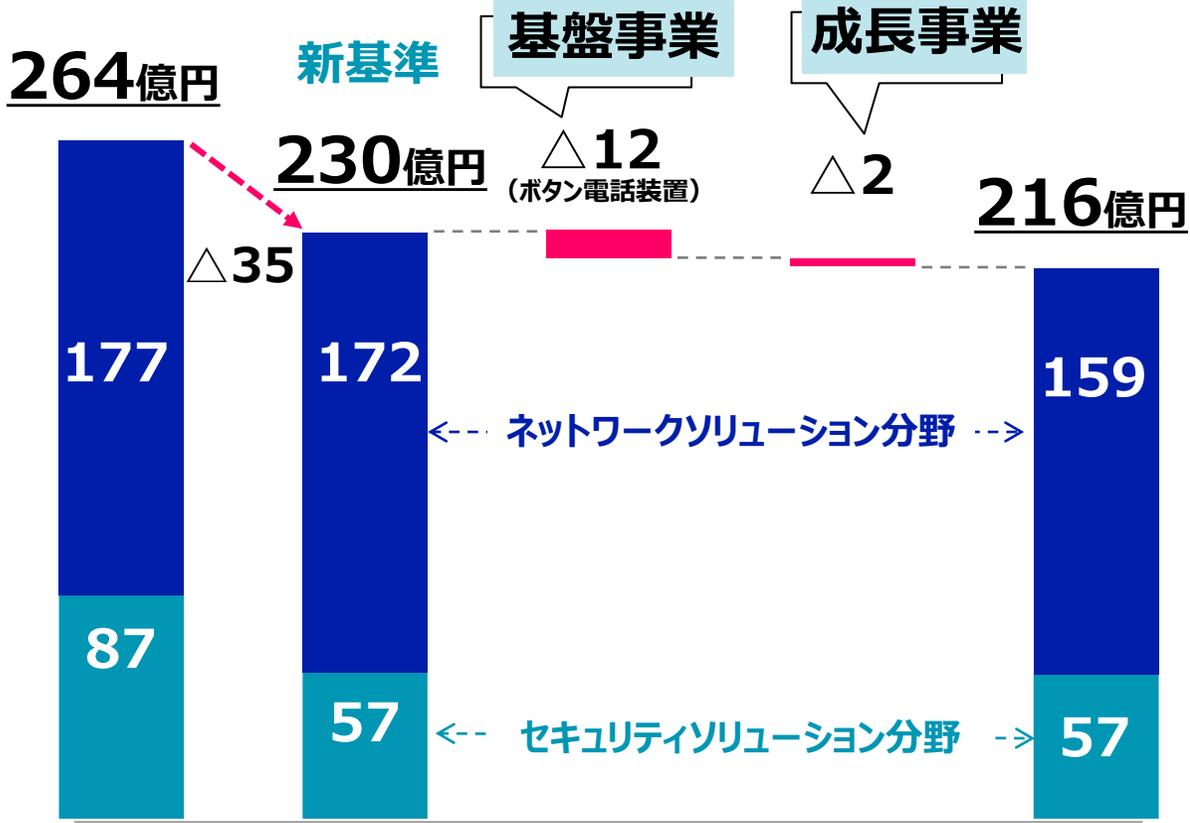
1 連結損益計算書

(単位：億円)

	2021年 3月期3Q(A)	2022年 3月期3Q(B)	増減	
			(B - A)	比率
キーテレホンシステム	92	77	△15	△16%
ネットワーク機器他	85	81	△4	△5%
ネットワークソリューション分野	177	159	△18	△10%
セキュリティシステム	35	31	△4	△11%
部品他	52	26	△26	△50%
セキュリティソリューション分野	86	57	△29	△34%
連結売上高	264	216	△48	△18%
連結営業利益	18	△3	△21	-
連結経常利益	18	△1	△19	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△8	3	+11	-
1株当たり四半期純利益	△131.09円	56.39円	+187.48円	-
ROE	-	1.4%	-	-
配当	-	-	-	-

2-1 連結売上高の主な増減内訳

(単位：億円)



	2021年3月期3Q	2021年3月期3Q (新基準)	2022年3月期3Q (新基準)	差異 (新基準)
基盤事業	108	105	94	▲11
成長事業	86	57	56	▲1
成長事業	69	67	65	▲2
	1	1	1	0

2021年3月期3Q ———— 48億円減収 ————> 2022年3月期3Q
(内新基準影響で35億円減収)

- ※ **基盤事業** : ボタン電話装置、公衆電話、防犯設備機器、アミューズメント、EMS、その他
- ※ **成長事業** : ビジュアルソリューション、ITビジネス、SIビジネス

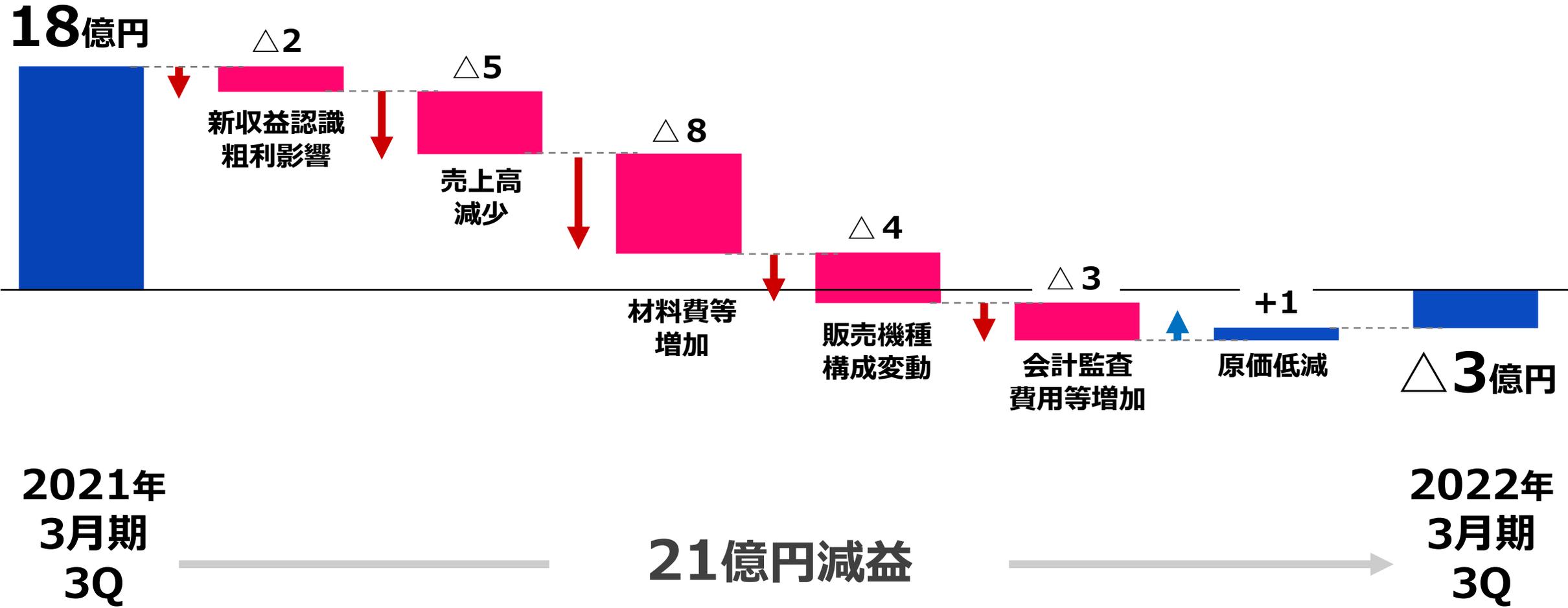
2-2 連結売上高の主な増減内訳

(単位：億円)

区分	2021年 3月期3Q	新基準影響	2021年 3月期3Q (新基準)	2022年 3月期3Q (新基準)	差異 (新基準)	
基盤事業	ボタン電話装置	95	△4	91	79	△12
	公衆電話	8	—	8	9	+1
	防犯設備機器	21	△0	21	21	—
	アミューズメント	27	△13	14	17	+3
	EMS	36	△16	20	19	△1
	その他	8	—	8	5	△3
	計	194	△33	162	150	△12
成長事業	ビジュアルソリューション	9	△0	9	8	△1
	ITビジネス	41	△2	39	36	△3
	SIビジネス	19	—	19	22	+3
	計	70	△2	68	66	△2
合計	264	△35	230	216	△14	

3 連結営業利益の主な増減内訳

(単位：億円)



4 連結貸借対照表

(単位：億円)

資産の部	2021年3月期 期末(A)	2022年3月期 3Q末(B)	増減 (B - A)
流動資産	215	219	+4
固定資産他	150	143	△7
資産合計	365	363	△2
負債・純資産の部	2021年3月期 期末(A)	2022年3月期 3Q末(B)	増減 (B - A)
流動負債	92	90	△2
固定負債	42	44	+2
負債合計	134	134	—
純資産合計	230	228	△2
負債・純資産合計	365	363	△2
自己資本比率	62.6%	62.9%	



ビジョン (目指す姿)

つなげる技術の、その先へ。

心地よい暮らし、つまり、
安心で安全、快適で便利な環境の実現に向けて。
つなげる技術を、さらにつなげていくこと。
それを、お客様の明日へとつなげていく、サクサです。